学校番号	1208

平成 31 年度と評価の年間計画

教科	科目（講座名）	単位数	指導学年	履修の条件
専・家庭	子どもの発達と保育 （　子どもの発達と保育乙　）	2	3	子どもの発達と保育(甲) 履修者

使用教科書	副読本等
実教出版　「子どもの発達と保育」　新訂版	なし

準備物・費用等	必修／選択	全員履修	セット	自由選択	授業形態	講義	実技	実習
4000円/1年			○			○		○

1．担当者からのメッセージ（学習方法等）

・子どもの発達と保育について2年間にわたって学習します。(乙）では幼児を中心とした学習内容になっています。
・実習を通して、食事や生活・遊びと養護を確認していきます。積極的に取り組みましょう。
・親子交流実習を通して、幼児との触れ合い交流があります。意欲的に参加しましょう。

2．学習の到達目標

子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得させ、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。

3．学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断・表現	c：技能	d：知識・理解
観点の趣旨	子どもの身体的・精神的発達や保育、子育て支援について関心をもち、実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身につけている。	子どもの発達や保育に関わる幅広い知識を身に付け、子どもを生み育てることや、家族の役割や地域の子育て支援などについて課題を見いだし、思考を深め、適切に判断し、創意工夫し表現する能力を身に付けている。	子どもの発達や保育に関わる事柄について、親子交流実習を通して、子どもの発達の特性や発達過程に対応した技術を身に付けている。また、実習や観察を通じて知識を深めることができ、子どもを取り巻く問題について推測・考察ができる。	子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識を習得し、子どもの行動や生活に関する基本的な事項が理解できている。
評価方法	・授業プリント ・ワークシート ・観察等	・授業プリント ・ワークシート ・実習レポート ・観察等	・授業プリント ・ワークシート ・実習レポート ・実習製作物 ・観察等	・授業プリント ・ワークシート ・確認小テスト ・観察等 ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４．学習の活動

月	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価規準	評価方法
4月 ～ 6月 中旬	学ぶにあたって	学習の意義や内容、座学や実習の方法、評価方法の理解	○				a.子どもの遊びや生活習慣について、広く関心をもっている。	確認小テスト 授業プリント ワークシート 実習レポート 観察等
	第１章 子どもの発達の特性 １節 発達と 乳幼児期の意義	・乳幼児期の特徴		○			b.子どもにとって適切な生活全般の条件について思考し、まとめている。	
	第２章 子どもの発達の過程 ２節 子どもの遊び	・生活と遊び ・生活習慣の意義				○	c.遊びや生活習慣の形成に必要な技能を実習を通して身につけている。	
	３節 生活習慣の形成	・基本的生活習慣 ・社会的生活習慣			○ ○		d.遊び、生活習慣の形成の意義と重要性を理解している。	
6月 下旬 ～ 8月	第3章 子どもの生活 １節　生活と養護	・栄養と食事 ・栄養と食事食習慣の形成 ＊離乳食実習、粉ミルクの飲み比べ体験 ・乳児の食生活と遊びを併せて ＊食育知育玩具：パク・モグちゃん／食べ物ﾏｽｺｯﾄ製作 ＊７月中旬まで座学と平行して実施 〈　７月考査　〉	○	○	○	○	a.子どもの食生活を学ぶ中で、さまざまな課題や問題点を考えようとしている。 b.乳汁栄養から離乳食、幼児食へと進む発育・発達に応じた食事のあり方についてまとめたり、発表したりしている。 c.乳幼児期の食生活の特徴を把握し、献立を立案することができる。 d.乳幼児期の食生活の特徴を理解している。	授業プリント ワークシート 実習レポート 観察等 定期考査
9月 ～ 11月 上旬	第２章 子どもの発達の過程 ２節 子どもの精神発達 ３節 人間関係の発達	・遊びの援助 ＊絵本の効果 ＊落ち葉アート ＊名札づくり ＊11月下旬の親子交流実習に向けての遊びの準備をしていく。	○	○	○	○	a.子どもの発達にあった遊びを考えようとしている。 b.子どもの発達にあった遊びを自分なりに考え、工夫している。 c.発達にあった遊びの内容を身に付けている。 d発達に合わせて遊びを働きかけることが大切であることを理解している。	授業プリント ワークシート 実習レポート 実習製作物 観察等

11月 中旬 ～ 12月	第４章 子どもの保育 1節 保育の意義と重要性 2節 家庭保育と集団保育 3節　保育の方法	・保育とは ・人間形成と保育 ・家庭保育 ・集団保育 ・保育者の役割とは ・指導のポイント ＊親子交流実習（幼児） 〈12月考査〉	○ ○	○ ○	○	○	a.自分自身が子どもを取り巻く周囲の大人になることを理解し、果たすべき役割について考えようとしている。 b集団保育・家庭保育、それぞれにおける場面での子どもとの適切な関わり方について理解を深めることができる。親子交流実習を通して子どもの生活や行動などを観察し、客観的に分析し、それらをまとめることができる。 c.親子交流実習を通して、子どもの生活や行動などを観察し、客観的に分析できる。 d.保育の意義や重要性について理解できる。	授業プリント ワークシート 実習レポート 観察等 定期考査
1月 ～ 2月	第3章 子どもの生活 4節 健康管理と事故防止	・日常の健康管理 ・病気の看病と応急処置 ・事故の防止と応急処置		○	○		a.乳幼児の健康を守るための保育者の役割について考えようとしている。子育て支援の課題と展望について関心をもっている。 b.健康管理と事故防止について考えを深めている。子育て支援の課題と展望についてまとめたり、発表したりしている。 c.基本的な看護と事故防止方法について、実習を通して身につけている。子ども・子育てに関わる問題点や解決方法について情報を収集・整理・調査することができる。 d.子どもが健康で安全に生活するために必要な知識を身につけている。児童福祉の考え方やそれに関わる制度を知識として習得し、子どもや子育てを取り巻く問題点や課題にまで踏み込んで分析し、望ましい方向性について理解している。	授業プリント ワークシート 実習レポート 観察等 定期考査
	第5章　子どもの福祉 1節 子どもの福祉 2節　子育て支援	・児童福祉の理念 ・児童福祉に関する法律 ・児童福祉のための機関・施設 ・児童虐待とその予防 ・これからの子育て支援 ・子育て支援の課題 ＊親になることを考える「親学習」 〈2月考査〉	○			○		

＊は実習を意味する。